

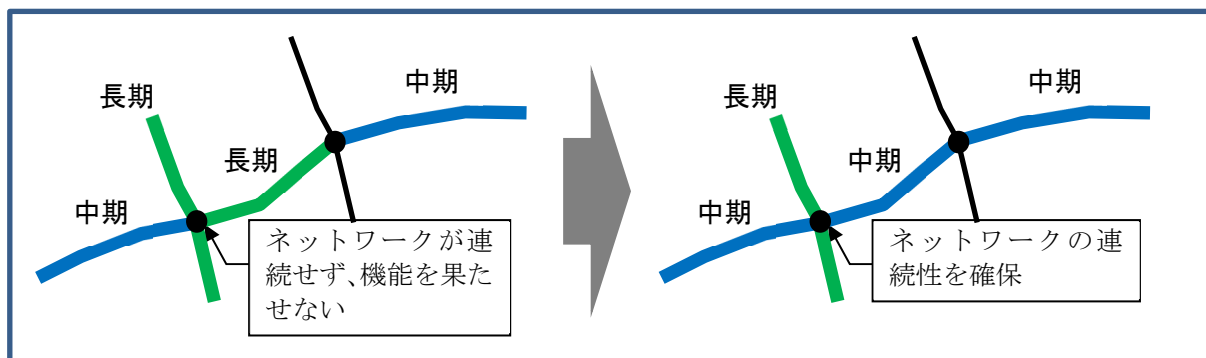
9. 道路整備の優先度

(1) 整備優先度の調整

1) ネットワークの連続性を踏まえた調整

道路整備重要度の評価結果を基に、各整備時期による道路の連続性を検討し、ネットワークとして整備効果が十分に発揮されるよう整備時期を調整する。

ネットワークが連続していない場合、路線全体の機能やネットワーク状況等を踏まえつつ、整備優先順位を合わせるものとする。



図－ネットワークの連続性の確保の考え方の例

2) 工業団地整備事業を踏まえた調整

地-11（市道 大水戸線）の整備重要度は「低」と評価される。しかし、当路線は、H30 の甲賀市道路整備基本計画において、地-12（（仮称）甲賀北工業団地線）とともに、甲賀北地区工業団地整備事業とあわせての整備を行うものと調整されている。



図－市道 大水戸線の調整

地-12（（仮称）甲賀北工業団地線）がすでに一部整備済であることから、下表のとおり優先度の調整を行う。

表－優先度の調整区間

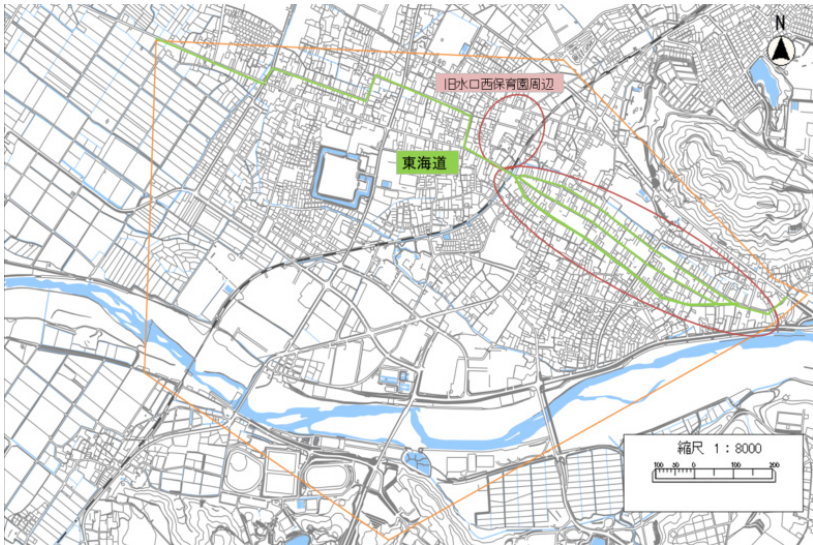
路線名	区間	優先度	
		調整前	調整後
市道 大水戸線	地-11-1	低	甲賀土山 IC 周辺工業団地整備事業と同時期に整備
	地-11-2	低	

3) 東海道「暮らし・にぎわい」再生事業を踏まえた調整

平成17年から全国各地で実施されている、(一社)日本建築学会が主催する「学生と地域との連携によるシャレットワークショップ」が、甲賀市内の、下図の範囲を対象として、令和5年9月に実施された。

本ワークショップにおいて、東海道の暮らし・にぎわい再生の機運醸成を目指し、全国各地の建築、都市、まちづくりを学ぶ学生と専門家により、地域住民と交流しながら、まちの将来像について検討・提案された。

本ワークショップの対象範囲に位置する補-2-2((都)樋下綾野線)、地-5((都)古城御茶園線)、地-6((都)高塚林口線)、地-7((都)大橋内貴橋線)については、まちの将来像について検討・提案された内容を踏まえた整備が望ましいと考える。しかしながら、補-2-2((都)樋下綾野線)、地-5-1((都)古城御茶園線)については、すでに計画が予定されていることから、この2路線を除いた路線・区間の整備について、別途検討とする。



図ーシャレットワークショップの対象範囲

表ー優先度の調整区間

路線名	区間	優先度	
		調整前	調整後
(都)古城御茶園線	地-5-2	高	東海道「暮らし・にぎわい」再生事業の検討・提案内容を踏まえ整備を検討
	地-5-3	高	
(都)高塚林口線	地-6-1	高	
	地-6-2	高	
	地-6-3	高	
	地-6-4	高	
(都)大橋内貴橋線	地-7-1	高	
	地-7-2	高	
	地-7-3	高	
	地-7-4	高	

(2) 道路整備プログラムの設定

前項までの検討内容を踏まえ、整備重要度が高い路線・区間から優先して整備するものとし、最終的な事業着手の目標時期を設定する。

事業着手時期は「短期整備」「中期整備」「長期整備」「工業団地と一体整備」「東海道「暮らし・にぎわい」再生事業で整備検討」として各路線・区間に設定し、それぞれの目標時期を設定する。「短期整備」「中期整備」「長期整備」それぞれの期間に事業環境が整った対象路線・区間から事業に着手するが、整備環境によっては整備時期を前後して検討を進めるものとする。

なお、整備優先順位はあくまでも目標であり、財政や事業環境の準備、地元対応など対象路線・区間を取り巻く状況を踏まえ、事業実施を判断する。

表－事業着手時期の設定

事業着手時期	優先度設定の基準	事業着手目標
短期整備	評価対象路線・区間のうち、整備重要度「高」に評価されたもの	概ね 2028 年までに事業着手を目標とする。
中期整備	評価対象路線・区間のうち、整備重要度「中」に評価されたもの	概ね 2038 年までに事業着手を目標とする。
長期整備	評価対象路線・区間のうち、整備重要度「低」に評価されたもの	短期・中期整備の整備状況によって事業着手を検討する。
工業団地と一体整備	工業団地整備事業を踏まえて、調整した路線・区間	甲賀土山 IC 周辺工業団地整備事業と同時期に整備する。
東海道「暮らし・にぎわい」再生事業で整備検討	東海道「暮らし・にぎわい」再生事業の取り組みを踏まえて、調整した路線・区間	東海道「暮らし・にぎわい」再生事業の検討・提案内容を踏まえ整備を検討する。

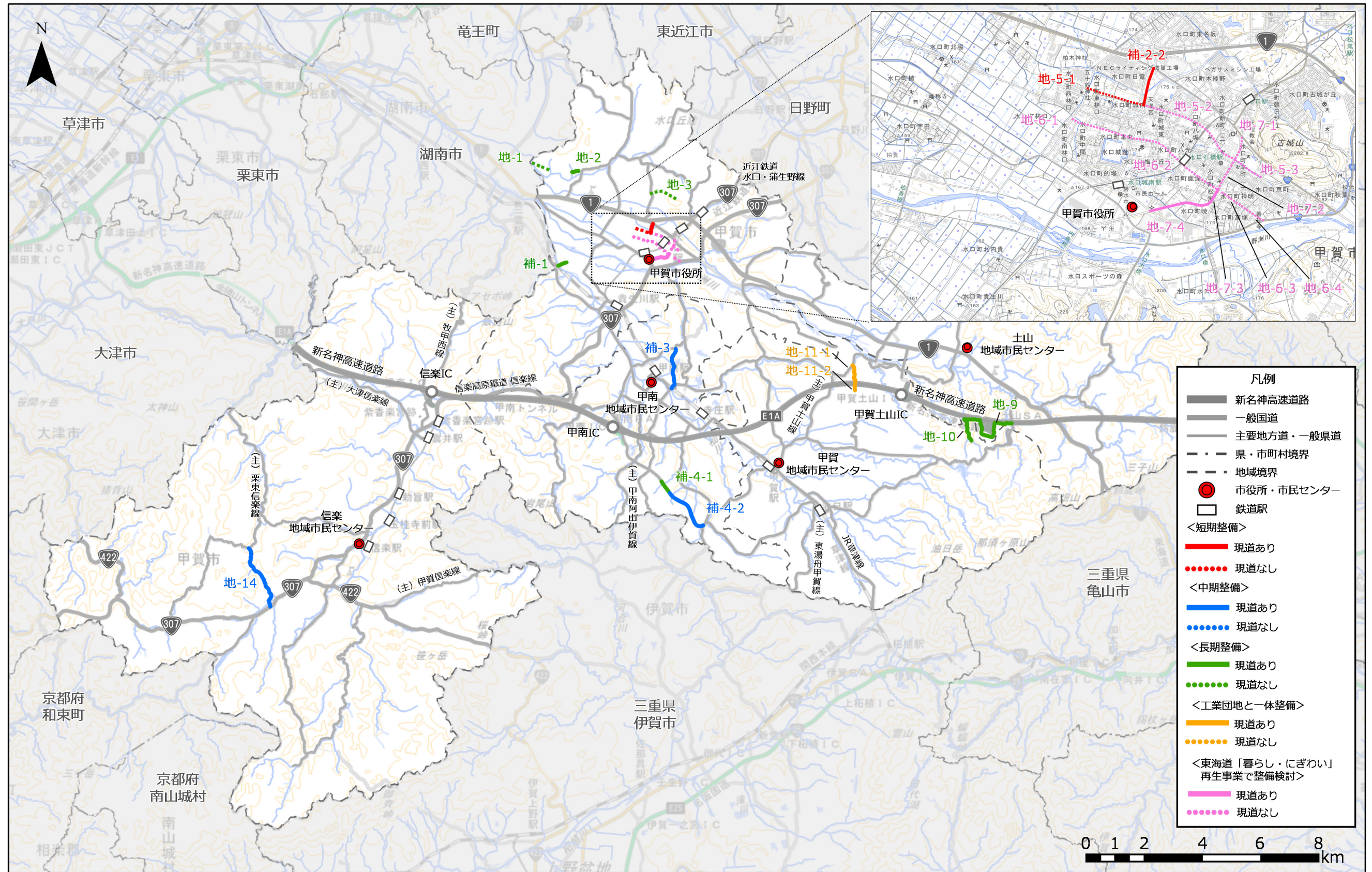
表一対象路線・区間の目標整備時期

評価対象路線名	道路機能	路線区間 番号	事業整備 延長 (m)	整備優先順位の 最終評価
(都) 樋下綾野線	補助	2-2	330	短期整備
(都) 古城御茶園線	地域	5-1	500	
(都) 葛木希望ヶ丘線	補助	3	1,030	中期整備
市道 野川杉谷線	補助	4-2	750	
市道 柞原・奥出線, 市道 寺谷線	地域	14	2600	
市道 岩坂・宇川幹線	補助	1	310	長期整備
市道 野川杉谷線	補助	4-1	1,480	
(仮称) 下山朝国線	地域	1	520	
市道 下山・柳瀬幹線	地域	2	370	
(仮称) 名坂自然公園縦貫道	地域	3	1,070	
市道 南土山・神線	地域	9	2,480	
市道 次良九郎線	地域	10	540	
市道 大水戸線	地域	11-1	440	工業団地と一体整備
	地域	11-2	440	
(都) 古城御茶園線	地域	5-2	940	東海道「暮らし・にぎわい」再生事業で整備検討
	地域	5-3	270	
(都) 高塚林口線	地域	6-1	530	
	地域	6-2	870	
	地域	6-3	240	
	地域	6-4	250	
(都) 大橋内貴橋線 (市道 大橋・内貴橋線)	地域	7-1	230	
	地域	7-2	260	
	地域	7-3	300	
	地域	7-4	390	

表一整備優先順位別の路線・区間及び整備延長の数量

整備優先順					計
短期整備	中期整備	長期整備	工業団地と 一体整備	東海道「暮らし・にぎわい」再生事業 で整備検討	
2(0.9km)	3(4.4km)	7(6.8km)	2(0.9 km)	10(4.3km)	24(17.2km)

※小数点以下2桁は切上げ



図－整備優先順の最終結果